

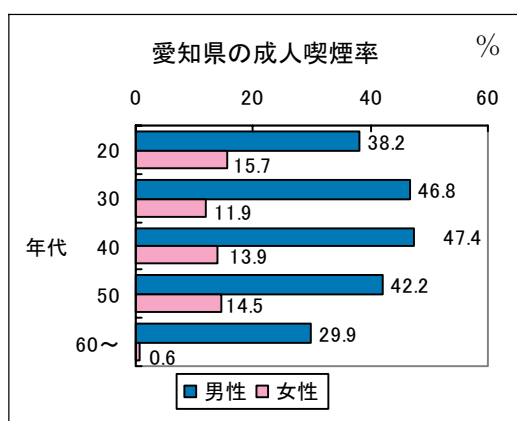
# たばこ

- たばこの煙には、発がん物質、発がん促進物質が含まれ、がん、心臓病、脳血管疾患、呼吸器疾患などの発症に関連があるほか、歯周病や低出生体重児などの危険因子となっています。
- 本人のみならず、周囲の人々も受動喫煙により、健康への影響が指摘されています。
- 平成15年5月1日に健康増進法の施行、平成17年2月27日にはタバコ規制枠組条約の発効により、さらなるたばこ対策が求められています。

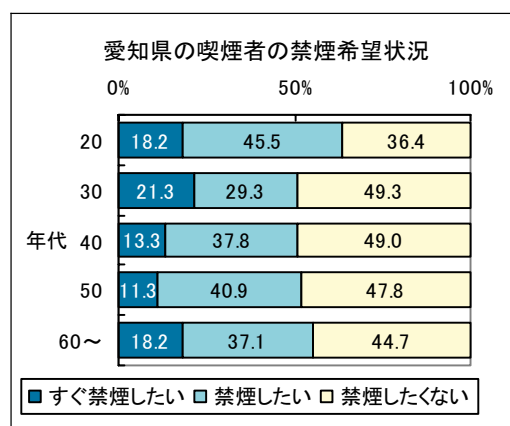
## 【中間評価の現状と課題】

(中間評価における指標の達成等の状況)

分野	達成(A)	改善(B)	悪化(C)	保留(D)	不明(E)	合計
たばこに関する指標	2 (9.1%)	10 (45.5%)	1 (4.5%)	8 (36.4%)	1 (4.5)	22 (100%)



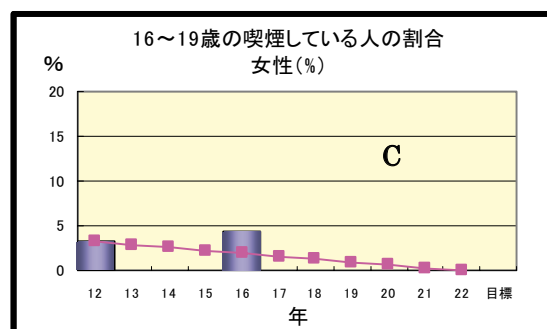
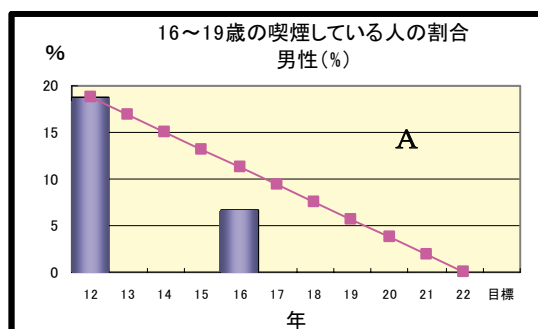
資料:愛知県「生活習慣関連調査」(平成16年)

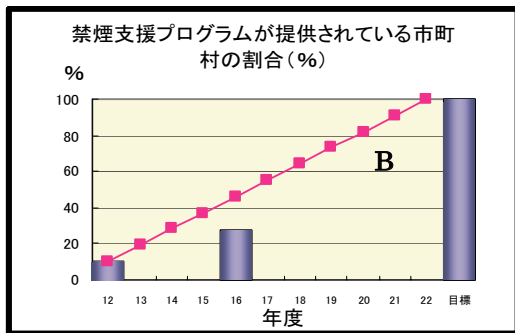
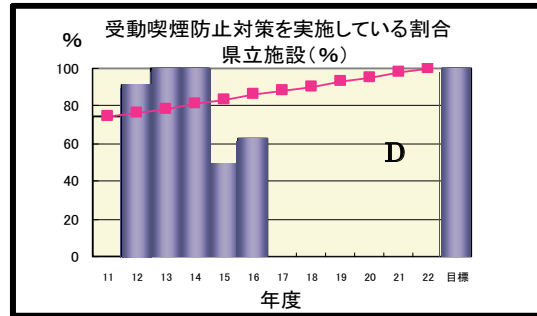
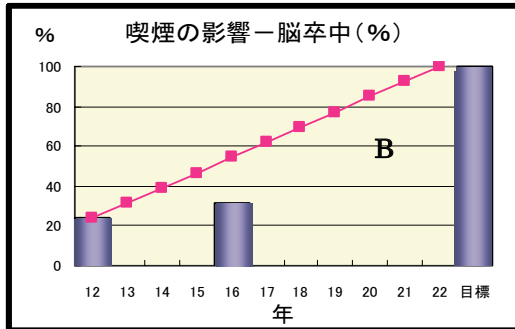
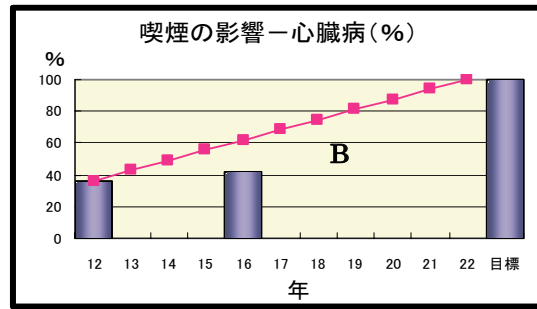
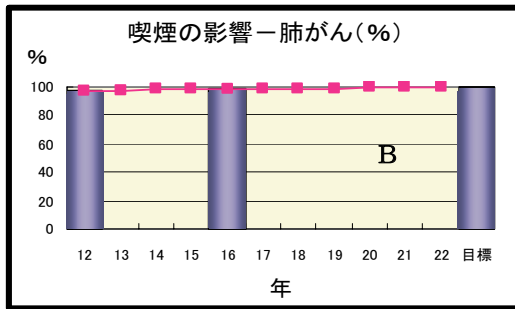


資料:愛知県「生活習慣関連調査」(平成16年)

## (現 状)

- 知識普及・啓発・・・計画策定時に比べて、喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及が図られていますが、疾病によっては、その年度の目標値と比べて隔たりがあります。
- 防煙・・・未成年者の喫煙は、男子が18.7%から6.7%と12ポイント減少したのに対して、女子は3.2%から4.5%と1.3ポイント増加しています。妊娠中の喫煙率は、5.8%から4.3%となり、1.5ポイント減少しています。
- 分煙・・・平成15年5月の健康増進法の施行により分煙の効果判定基準が変更となり、直近値は新基準によるものです。
- 禁煙サポート・・・禁煙支援プログラムを提供している市町村は27.6%で、両親学級、両親教室の禁煙教育を実施している市町村は53.8%、病院は77.8%となっています。
- 喫煙者のうち、各年代において半数以上が、禁煙を希望しています。





**(課題)**

- 肺がん、心臓病、脳卒中、歯周病等と喫煙の関係についての啓発が必要です。
- 未成年者、妊婦への防煙対策を充実することが必要です。
- 公共交通機関、レストラン、ホテル、事業所などの受動喫煙防止対策の充実が求められています。
- 禁煙支援プログラムを提供する市町村、医療機関が増加するよう働きかけが必要です。



**【 取組方向 】**

(県民自らの取組)

- 喫煙の健康影響に対する正しい知識を持ちます。  
 成長期 : 未成年者はたばこを吸いません。  
 成人期～老年期 : 喫煙の際には受動喫煙の防止に心がけます。禁煙希望者は、禁煙にチャレンジします。

(関係機関の取組)

- 喫煙の健康に関する知識の普及や健康教育を充実強化します。(特に小学校5～6年生)

(行政の取組)

- 学校、地域、公共の場所における禁煙、分煙をより適切な方法で推進します。
- 啓発用パンフレットによる広報活動を充実します。
- 禁煙希望者のニーズに応じた禁煙サポート体制の整備をします。
- 保健所は受動喫煙防止対策普及員と連携をとり、地域での禁煙・分煙の働きかけを推進します。
- 受動喫煙防止対策実施施設数を増加するようにします。

【指標・目標】

番号	重点項目	種類	項目	指標	資料	新指標	県独自指標	策定時ベースライン値	中間評価時				
									直近値	判定区分	新目標値(単位等)		
1		行動	妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中の喫煙率(%)	愛知県「母子保健報告」		○	5.8	4.9	B	0%		
2	○	行動	未成年者の喫煙をなくす	16～19歳の喫煙している人の割合男性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」			18.7	6.7	A	0%		
				16～19歳の喫煙している人の割合女性(%)				3.2	4.5	C	0%		
3		行動	成人の喫煙率を半減します	20歳代男性の喫煙率(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	—	38.2	—	19.1%		
				20歳代女性の喫煙率(%)		○	○	—	15.7	—	7.8%		
				30歳代男性の喫煙率(%)		○	○	—	46.8	—	23.4%		
				30歳代女性の喫煙率(%)		○	○	—	11.9	—	5.9%		
4	○	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-肺がん(%)	愛知県「生活習慣関連調査」			97.7	98.5	B	100%		
				喫煙の影響-喘息(%)				55.9	58.3	B	100%		
				喫煙の影響-気管支炎(%)				64.4	65.3	B	100%		
				喫煙の影響-心臓病(%)				36.3	41.6	B	100%		
				喫煙の影響-脳卒中(%)				23.7	31.9	B	100%		
				喫煙の影響-胃潰瘍(%)				22.0	23.2	B	100%		
				喫煙の影響-妊娠に関連した異常(%)				62.9	63.5	B	100%		
			喫煙の影響-菌周病(%)				16.2	17.7	B	100%			
5	○	環境	注) 公共の場及び職場における受動喫煙対策の徹底	受動喫煙防止を実施している割合県立施設(%)	愛知県立施設受動喫煙防止対策推進計画			—	73.6	D	100%		
				受動喫煙防止を実施している割合市町村庁舎(ロビー等)(%)		厚生労働省「喫煙対策実施状況調査(愛知県)」			—	70.3	D	100%	
				受動喫煙防止を実施している割合保健センター(ロビー等)(%)					—	96.2	D	100%	
				受動喫煙防止を実施している割合交通機関(%)					—	14.3	D	100%	
				受動喫煙防止を実施している割合病院(%)					—	63.0	D	100%	
				受動喫煙防止を実施している割合金融機関(%)			愛知県「公共の場所等における受動喫煙防止対策実施状況調査」			—	48.2	D	100%
				受動喫煙防止を実施している割合レストラン(%)						—	26.8	D	100%
				受動喫煙防止を実施している割合ホテル(%)						—	12.7	D	100%
受動喫煙防止対策実施認定施設数の増加	受動喫煙防止対策実施認定施設報告	○	○	—	1,661			—	5,820 施設				
6	○	環境	禁煙支援プログラムの普及	禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合(%)	厚生労働省「喫煙対策実施状況調査(愛知県)」			10.3	27.6	B	100%		
7		環境	保護者への禁煙教育の促進	両親学級、両親教室等における禁煙教育を実施している割合市町村(%)	愛知県「母子保健報告」			—	62.1	E	100%		
				両親学級、両親教室等における禁煙教育を実施している割合病院(%)		○	○	24.0	77.8	A	100%		

注)   = 策定時の目標値を変更しました。

注) 平成15年に、分煙基準の変更があり、ベースライン値との比較が困難となったため。

策定時は、たばこの煙を除去して室内に排気する方式(空気清浄装置)でも、分煙と認められたが、新ガイドラインでは、空気清浄装置はガス状成分を除去できないという問題点があることから、たばこの煙が拡散する前に吸引して屋外に排出する方式の喫煙対策を推奨することとした。

参考:「職場における喫煙対策のためのガイドライン」厚生労働省労働基準局長